

刊朝日九十
(號七十七百九千二第)

[illegible]

京城日報

財政の獨立

我大日本帝國の新領土及び植民地は、覺れ相當の文明を有するの地たるのみならず、其富強亦甚だ豐なる處ならざるはなし、是れ其財政上の艱苦を感ずることなきを得る所以なり。

然し雖も今日の強大國の其新領土植民地を統治するの根本政策は、之に依て國權を擴張し國力を發揚するにありて存し、其餘貨を收めて以て母國の會計を助くるの資本の爲にあらず。新領土植民地の會計は獨立を尊ぶ、然れども其獨立又自然なる可く強て之を促がすべきにあらず、且獨立に餘力あらば、則ち之を以て他地方の富強に資するに可なり。

チヂリヌスやチロ、忠僕なるウルス、
羅馬にキリスト教を傳へし使徒ポー
ロ及びペテロ心惡しき皇后……ス
シア人、マアミロン人、サムニッ
人、ゴール人などが現出し見る人々
羅馬の宮殿、橄欖樹、集合船、船等
の幕と變化して行きます。私は「グ
オパデキース」を讀みながら知らず
し此の想像が頭の中に恰かも現
れ

「お客様、お客様！」とボーイの呼
び起すに眼を覺めたが汽車は已に消
え、東江野郎の驛に來て居ります。私
は又もや現代の人となり、人類
者、人類學者となり、昨年澤氏と共に
調査した金海の貝塚の事など想像す
る様になりました。斯くして汽車は
昨朝釜山に到着いたしました。

私は今夜出帆の汽船で對馬に渡り
君の調査せしこと有り、其説を聞く
暇に當りての有無如何を考ふるが如き

の厚さは僅に二尺に充たすと云ひ、
此處は右を調査せし鳥居君の談なれ
ば、確かならんが、日本の分には其
貝層一丈、三尺に及ぶものあり、又
た普通は三四尺の例を見れども、二
尺、池内に人為的の加工ありや否を確
に知る事は難しに貧窮に過ぐ、故に
其附近傍に住居地あるや否、若し有
りてすれば其實況を探り、又日本古
時代のアイヌ間に行はれしチヤシコ
ン

鳥居龍藏
調査旅行を終つた私は數日間の京城に滞在し、南山老人亭下なる一小澤俊二氏の閑靜な御宅に安んじ居りました。私は東京へ歸る途次、釜山から對馬に渡り、其處

致し面目一新以て讀者に見えんとす

新年號七十頁

大正五年の本紙が如何に面目を一新して讀者に見ゆるか、之を新年號に於て試験せられんことを望む。紙數實に七十頁敢て

新年號七十頁

大正五年の本紙が如何に面目を一新して讀者に見ゆるかは之を新年號に於て試験せられんとを望む、紙數實に七十頁敢て紙幅の老大を以て誇らんとするものにあらす其實質の雄大實華麗を以て半島大新聞の權威を示さんとす記事に於て材料に於て寫眞繪畫に於て編輯法に於て正に是れ新聞界に一新紀元を劃するものなるを確信す

電報欄の擴張

從來と雖も内外各地の電報の多きは本紙の特色とせる處なりしも大正五年より一層電報欄擴張の必要を感じ内外各地に特派員通信員を増置し電報料を吝まず特殊の材料頻發の事件をく之を急電に依りて報知せしむる事となせり乞ふ刮目して斯春以後の本紙を見よ

朝鮮の先史民族

八木 獎三郎

[illegible]

安高止部
値値ノ付
十七月
十八月
十九月
二十月
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十

買取組
一二月
三月
四月
五月
六月
七月
八月
九月
十月
十一月
十二月

家は誠意清事を施行し家族は五日間
閑居を命ぜらる

贈答品 ● シキセモノ
高等既製
オント
コンバ

破格即賣

正札より五歩引景品付

京城南大門通

丁子屋洋服店

引續き
羽子板
玩具陳列會
開催中

歳末
御贈答責出し
年始

十二日ヨリ十日間
夜間營業
開始仕候

越

十二月二十日より

京 城

三越呉服店

三越
特製履物陳列

頗る好評の
三越足袋
夫々好いよ

便利重寶かる
の商品券
一圓以上残すに候

クリスマスマス用
西洋大和琴器
最新年號雜誌
最新刊圖書
かかる花かるた
トランブ

大販賣

日韓書房

京城電話一四七五
二三二七
振替一一五番

第三十七回帝國議會

内閣彈劾案の論議

十八日の衆議院本會議

衆議院は十八日の本會議で、内閣の彈劾案を討論した。この日は、野黨は反内閣の氣勢を煽らんが爲め、歌舞伎座に彈劾演説會を開き、内外呼應して人心の波瀾に努めたり、議場内外ともに、午後二時二十分、開議の聲が、直ちに彈劾案を議題に供し、議長は原案を讀み上げた。

△原案の採否 野黨の拍手に送られて、内閣の失政は内地に於いて、極度に達した。其の重要なるものを、第一に居る。問題なり。内閣は大浦氏の演説を起して、大浦一人に其の責任を押しつけ、而して其の責任を大浦氏の一人に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△森田茂氏(中)の演説 森田茂氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△齊藤次氏(政友)の演説 齊藤次氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△小沢源一氏(同志)の演説 小沢源一氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

△山田武徳氏(中)の演説 山田武徳氏は、内閣の失政を、大浦氏の一人の責任に押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。大浦氏の演説は、大浦氏の一人の責任を押しつけた。

サッポロ
アサヒ
サッポロビール
清涼飲料
シトロ
リボン
日本酒
大日本酒

米
不二
不二米
不二米
不二米

下川益一商店
下川益一商店
下川益一商店
下川益一商店

票
票
票
票

御用
御用
御用
御用

(圖寫實器)

此器は仁丹五拾錢包に付す

銘原すりを
鑑へ朝夕便
利取寄